

景観視点場の整備について

1 景観視点場整備の必要性

景観は、風景などの「見る対象」だけでなく、高台などの「見る場所」があって、初めて成り立つものです。山古志の景観の素晴らしさを地域資源として活用するためには、「見る場所」が必要になります。

しかし、現状ではそういった視点場はなく、道路脇のスペースに車を止める程度だったり、来訪者に不案内だったりして、山古志の景観の魅力を伝えるものとしては十分ではありません。

そこで、住民の皆さんと一緒に、「山古志の景観の素晴らしさを伝えることができる場所」を選び出し、必要な整備と活用を行いたいと思います。

2 場所の選定について

場所については、長く山古志にお住まいの皆さんがよくご存知です。今後、住民の皆さんから意見を収集し、選定していきたいと思います。

3 視点場整備の期待する効果

視点場整備は手段であり、目的ではありません。視点場を整備することによって、山古志の魅力を来訪者にわかりやすく伝え、さらなる交流人口の増加を目指し、持続的な発展が可能な山古志をつくることを目指します。

【視点場の例】

